

C₄₃ 大沼さんへ、というところをもうちょっと上に。

T₇₁ あ、これ、下でなくて、もっと上ということ。

C₄₄ うん、そうだよ。

T₇₂ そうね。それは、教科書をみて直せばいいですね。

T₇₃ そうすると、これ、もしならべるとしたら、一番最初、何もってくる？

C₀ 球技大会 (多くの子)

T₇₄ 球技大会

C₀ はい (多くの子)

T₇₅ じゃ、これもってくる。そのつぎは？

C₄₅ 勉強のことかな。

T₇₆ はい、勉強のこと、そのつぎは？

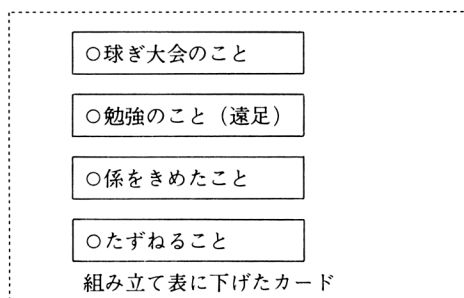
C₄₆ 係のこと。

T₇₇ 係、それから。

C₄₇ たずねること。

T₇₈ たずねること、最後に持ってくるのね。必ずこうでなくてもいいかも知れないけどね。それから、日付けは正しく書くということだったね。終りのあいさつは、すこし短かったけど、もし、つけたすなら、ここに「つけたす」と書いて、あとでつけたしてもらおう。ね。それからね、これで、ひとつ、ふたつ、みっつ、よっつ、よっつの事があるんだけど、この前にちょっと話したように、相手、相手の人と一緒にしたこととか、思い出とか、そんなことを入れると、読む人が楽しく読めるということがあるわけ。で、ここだったら、遠足のところにね、去年の遠足で、大沼さんと遊んだんだったね、などということを入れると、読む人が楽しく読める、ね。あ、それから、最初に忘れたけれども、ここ、ここが大沼さんですか、(書きこむ)、こんなふうに自分の組み立表を書いてほしいわけです。組み立て表を出してごらん。それから、自分の手紙出してごらん。ではね、自分のそれに書いていってみて下さい。

○ 順序をかえる



この部分で、全体の順序を吟味している。直す前は、1球ぎ大会のこと、2係をきめたこと、3たずねること、であった。なお、メモの段階では1. 球技大会 2. 係がえをしたこと 3. わくいさんが転校してきたこと 4. たずねること、となっているのである。書いているうちに、考えが変わることを示しているし、メモをどう生かすかも指導しなければならない。メモに従って書けばいいとだけは、いけないのである。

ここで、順序をととのえることを学習しているが、T₆₇で述べているように、必ずこうでなければならないということはないであろう。知らせる内容や、相手のこと考えて、作者の考えによってよいわけである。

なお、「相手の人と一緒にしたこととか、思い出とか入れるとよい」と話しているが、このことは、多くの子の手紙に表れてくる。

組み立て表の書き方についても指示し、構成させて行く。